

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

わが国のスポーツ振興ならびにスポーツ政策の形成に寄与する
「笹川スポーツ研究助成」2016年度37件
総額2,569万円の助成決定のお知らせ

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する公益財団法人笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：小野 清子 以下：SSF）は、日本のスポーツ振興に貢献する優れた人文・社会科学領域の研究活動を支援する助成制度『笹川スポーツ研究助成』の2016年度採択研究を決定しました。

本年度は、全国から162件の申請があり、学識経験者などで構成する選考委員会による厳正なる選考を経て、37件（総額：25,697,000円）が決定いたしました。

なお本日、SSF主催「笹川スポーツ研究助成」と日本科学協会主催「笹川科学研究助成」は、「研究奨励の会」を共同開催いたしました。（於：ANA インターコンチネンタルホテル東京）

2016年度笹川スポーツ研究助成 採択件数ならびに助成総額

研究テーマ		応募件数	採択件数	助成総額
①スポーツ政策に関する研究	一般研究	32	9	11,402,000円
	奨励研究	26	7	
②スポーツとまちづくりに関する研究	一般研究	28	3	3,144,000円
	奨励研究	11	2	
③子ども・青少年スポーツの振興に関する研究	一般研究	33	7	11,151,000円
	奨励研究	32	9	
合計		162	37	25,697,000円

主な採択研究 —— 対象者氏名・研究テーマについては、2枚目以降の「採択研究一覧」をご覧ください。

- ・中村 和彦氏（山梨大学 教授） 助成額 1,000,000円
『低線量放射線環境下にある幼少児の体力・運動能力向上のための取組に関する縦断的研究（4）-プレイリーダーの養成と保護者への運動遊びの啓発-』
- ・竹村 りょうこ氏（慶應義塾大学 非常勤講師）助成額 500,000円
『一流女性テニス競技者の熟達化に関する研究-deliberate practice・deliberate playの観点から-』
- ・岩沼 聡一朗氏（帝京科学大学 助教） 助成額 497,000円
『成人知的障害者におけるロコモティブシンドロームの危険因子と運動実施状況の関連性』

『笹川スポーツ研究助成』は、2011年度に創設した助成制度です。スポーツに関する人文・社会科学領域の研究活動を支援し、わが国のスポーツ政策に関する議論を活性化させることを目的としています。募集のテーマは、①スポーツ政策に関する研究、②スポーツとまちづくりに関する研究、③子ども・青少年スポーツの振興に関する研究の3つとなります。助成額は上限100万円の「一般研究」と、39歳以下の若手研究者を対象とした、助成額上限50万円の「奨励研究」のふたつの枠で募集を行っています。

この件に関するお問合せ先
笹川スポーツ財団
スポーツ政策研究所 研究助成担当：山田・高橋・工藤
TEL：03-5545-3303 grant@ssf.or.jp

2016年度 笹川スポーツ研究助成 採択研究一覧<一般研究>
テーマ1. スポーツ政策に関する研究

都道府県	名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
埼玉県	佐野 信子	立教大学	准教授	多様化社会において個性に応じた保健体育授業を可能とする政策立案に向けた基礎的研究 -カガ・オンタオ州2015年改訂版保健体育カリキュラムの理念と論争からインクルーシブな保健体育の示唆を得る-	1,000,000
埼玉県	上代 圭子	東京国際大学	准教授	スポーツイベントを通じたイスラム系在日外国人のスポーツ・ライフの調査研究 -イスラム系在留資格者に対するスポーツ政策の基礎情報の収集-	991,000
千葉県	鎗田 英樹	帝京平成大学	講師	精神障がいを持つ方を対象とした競技性スポーツの実施・普及に関する研究	377,000
東京都	清水 安夫	国際基督教大学	上級准教授	座位中心型生活習慣および身体活動型生活習慣を規定する各種要因の検討 -首都圏在住・在勤の第3次産業従事者を対象とした身体活動促進用エコロジカル・モデルの開発-	1,000,000
東京都	舟橋 弘晃	早稲田大学	助手	メダル獲得数が多い国ほど国民のエリートスポーツ政策に対する価値意識が高いのか -5カ国における社会調査の分析-	995,000
愛知県	内田 良	名古屋大学大学院	准教授	スキー・スノーボードにおける重大事故事例の網羅的収集と事故実態の解明 -安全対策の推進に向けた基礎資料の作成と公開-	994,000
愛知県	横溝 大	名古屋大学大学院	教授	スポーツ紛争における適切な紛争解決手続の検討 -イタリアとの比較を中心に-	1,000,000
兵庫県	山口 志郎	流通科学大学	講師	日本におけるスポーツボランティアの概念化に関する質的研究 -スポーツボランティア文化の構築に向けて-	1,000,000
広島県	和田 崇	県立広島大学	准教授	剣道用具産業のグローバル化と空洞化に関する地理学的研究	802,000

テーマ2. スポーツとまちづくりに関する研究

都道府県	名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
埼玉県	梶原 貞幸	淑徳大学	兼任講師	大型社会体育施設(第一種陸上競技場)のイベント会場利用等多目的利用についての研究 -ソーシャルキャピタル形成のための大型社会体育施設の役割とスタジアムイベントの地域価値の考察-	691,000
東京都	上林 功	早稲田大学大学院	大学院生(博士課程)	体育館の観客席の位置とスポーツ観戦評価に関する研究 -某Bリーグ1部クラブチームのホームアリーナを対象として-	831,000
富山県	西館 有沙	富山大学	准教授	ランニングやジョギングを楽しむランナーと交通弱者の共存および住み分けの提案	722,000

テーマ3. 子ども・青少年スポーツ振興に関する研究

都道府県	名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
山形県	渡邊 信晃	山形大学	准教授	幼児期の運動遊びが児童期の運動習慣形成と基礎的運動能力の発達に及ぼす影響	941,000
神奈川県	伊藤 栄治	東海大学	准教授	キャンパス開放型大学発「総合型地域スポーツクラブ」の実態とその評価に関する調査研究 -中学校の運動部と地域スポーツクラブの橋渡しを目指して-	900,000
神奈川県	中村 なおみ	東海大学	教授	体育授業における「準備運動」を再考し、「学びへ向かう導入」として変えていく取り組み -ウォームアップから3アップへ、自立・協働・創造に向けた主体的な学びとしての導入10分間へ-	1,000,000
山梨県	中村 和彦	山梨大学	教授	低線量放射線環境下にある幼少児の体力・運動能力向上のための取組に関する縦断的研究(4) -プレイヤーの養成と保護者への運動遊びの啓発-	1,000,000
和歌山県	伊藤 央二	和歌山大学	講師	スポーツ活動が日本人青年後期の生きがいに及ぼす影響についての理論化研究 -構造方程式モデリングによるグラウンデッド・セオリーのさらなる検証-	1,000,000
島根県	安部 孝文	雲南市立身体教育医学研究所うなん	研究員	中山間地域在住の幼児の運動習慣は長期に定着し、体力・運動能力の保持・増進に寄与するか? -縦断研究-	1,000,000
福岡県	長野 真弓	福岡女子大学	教授	中学生における体力・スポーツ活動と精神的回復力との関連性についての縦断的研究	999,000

2016年度 笹川スポーツ研究助成 採択研究一覧<奨励研究>

テーマ1. スポーツ政策に関する研究

都道府県	名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
東京都	石塚 創也	日本体育協会	研究員	オリンピック・ムーブメントにおける環境問題に関する歴史的研究 -1976年第12回オリンピック冬季競技大会の開催権返上に着目して-	500,000
東京都	河野 隆志	東都 リハビリテーション学院	専任講師	レスリングU-12世代における競技環境の実態に関する研究	296,000
東京都	岩沼 聡一郎	帝京科学大学	助教	成人知的障害者におけるロコモティブシンドロームの危険因子と 運動実施状況の関連性	497,000
東京都	山田 亜沙妃	国立スポーツ科学センター	測定技術者	一流指導者におけるキャリア形成過程の仮説モデル構築に関する 研究 -スポーツの社会化要因に着目して-	500,000
神奈川県	竹村 りょうこ	慶應義塾大学	非常勤講師	一流女性テニス競技者の熟達化に関する研究 -deliberate practice・deliberate playの観点から-	500,000
京都府	野田 光太郎	花園大学	准教授	日本発祥のスポーツを行う外国人選手の競技に対する認識 -カナダの男子新体操選手および指導者を対象としたPAC分析-	450,000
岡山県	原 祐一	岡山大学大学院	講師	カンボジア王国における小学校運動会政策に関する一考察 -黎明期における教育省行政官の認識と普及課題-	500,000

テーマ2. スポーツとまちづくりに関する研究

都道府県	名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
兵庫県	高松 祥平	神戸大学大学院	大学院生 (博士課程)	総合型地域スポーツクラブにおけるスポーツ指導者のコンピテン シーが職務満足、及び組織コミットメントに及ぼす影響	490,000
香川県	中村 一樹	香川大学	助教	スタジアムへの知覚アクセスが来訪・周遊行動に及ぼす影響 -周辺施設への交通アクセスと情報アクセスを考慮して-	410,000

テーマ3. 子ども・青少年スポーツ振興に関する研究

都道府県	名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
茨城県	稲垣 和希	筑波大学大学院	大学院生 (博士課程)	子供の個性に応じた心身の自己調整による運動パフォーマンス 発揮と自己効力感の向上	418,000
茨城県	大木 雄太	筑波大学大学院	大学院生 (博士課程)	遠くに投げる運動を学習するために効果的な注意の焦点づけに 関する実証的研究	488,000
千葉県	野川 暁弘	順天堂大学	大学院生 (博士課程)	スポーツ・マイノリティの研究 -ジェンダー・スポーツへの社会化-	500,000
東京都	鈴木 健一	東京学芸大学大学院	大学院生 (修士課程)	小学校体育マット運動における協働学習のための情報端末機器 の効果的な活用方法	500,000
東京都	古川 拓也	早稲田大学大学院	大学院生 (博士課程)	運動部活動における指導者と部員の人間関係に関する研究 -指導者が与える影響-	500,000
愛知県	村田 祐樹	中京大学	助教	保健体育科教職課程におけるスポーツ事故の予防に関する教材 の開発	500,000
兵庫県	竹内 友季子	兵庫教育大学大学院	大学院生 (修士課程)	武道における「礼」の概念と体育授業への展開	485,000
兵庫県	島本 好平	兵庫教育大学大学院	特任准教授	指導者のコーチングスキルが学生アスリートのライフスキル獲得 に及ぼす影響 -大学サッカー競技を対象とした検討-	420,000
兵庫県	中須賀 巧	兵庫教育大学	助教	学校運動部活動における肯定的競技引退観を促すチームの動 機づけ雰囲気の特徴	500,000

※2016年4月1日現在の情報